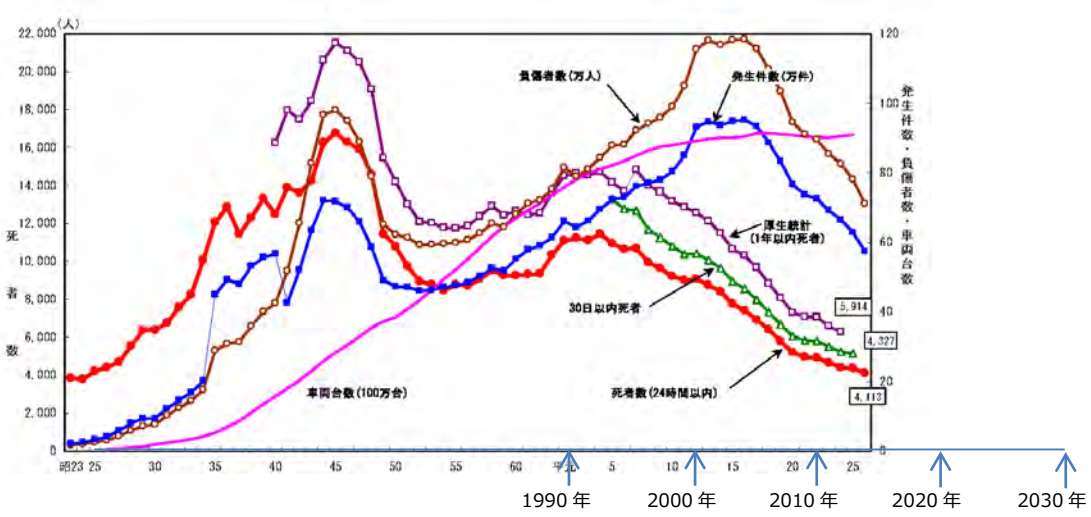
【参考１】交通事故死者数等を巡る近年の推移

- 平成 26 年の交通事故死者は 4,113 人、負傷者数は、71 万人。
- 現在、中長期的には減少傾向にあるも、死者数が減りにくい状況となっている。



（出典）平成 26 年中の交通死亡事故の特徴及び道路交通法違反取締り状況について

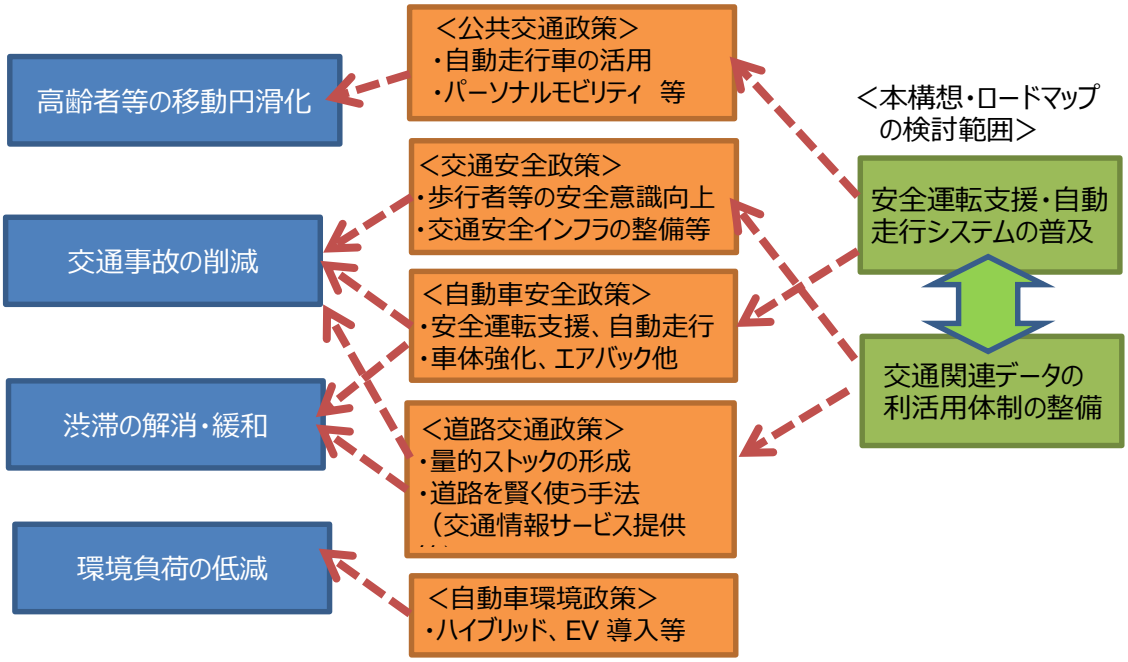
５．目標達成に向けた ITS に係る施策の方向

＜目標達成に向けた施策の戦略的重点化＞

ITS によって達成すべき社会・産業面での目標に向け、今後、図３に示す指標達成を念頭に置きつつ、このような指標の達成に効果的な「安全運転支援システム・自動走行システムの開発・普及」と、「交通データの利活用体制の整備」に係る技術・施策を、官民連携により、戦略的かつ重点的に進めていく。

なお、その際、指標の達成にあたっては、必ずしも ITS に係る施策のみで達成するものではない[19]ことを踏まえると、当該指標達成に向けた各種政策によるロジックモデルを明確化した上で、関連する各種政策と連携した上で、前記指標の達成に向けて取り組むことが求められる。

【図４】各種指標達成に向けたロジックモデル（例）[20]



[19] 例えば、交通事故の総件数は、様々な交通安全対策の影響によって変動するものであり、ITS 施策のみによる効果の指標とはならない。

[20] 本ロジックモデルは例であり、また、矢印の無いものは関連性を持たないことを示すものではない。